

令和2年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会生涯学習課
施設名称	39	東京都台東区立社会教育センター	指定管理者	JN共同事業体
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H29.4.1 ~ R4.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 社会教育の振興を図るため、区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。
(2)	[所在地] 台東区東上野6-16-8 [規模] 延床面積1,689㎡ RC造 ホール(130名)、会議室(40名)、和室(20名)、調理室(32名)
(3)	[委託事業] ①社会教育センターの管理運営 ②各種社会教育学級・講座・研修・講習会等の実施 ③社会教育に関する資料収集・情報提供 [自主事業] 地域の繋がり文化イベント、学ぶ機会を広げる講座、サークルフェスタ等実施
(4)	[利用者] 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 開館日：火～日曜：午前9:00～午後10:00 第2・4月曜：午前9:00～午後10:00 第1・3・5月曜：午後1:00～午後10:00 休館日：年末年始(12/29～1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制] 13名 (内 訳) 統括責任者兼台東区社会教育センター責任者(1) 統括副責任者兼教育事業統括(1) 統括副責任者兼受付庶務業務統括(1) 維持管理責任者(2) 受付・庶務(6) 教育事業担当(2) (前年増減) 統括副責任者兼受付庶務業務統括+1 維持管理責任者+1

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料(指定管理料)	82,979,000	82,979,000	83,463,195	83,789,000
	利用料金収入	2,477,000	2,607,865	2,515,000	2,135,575
	その他収入()	0	0	0	0
	計	85,456,000	85,586,865	85,978,195	85,924,575
支出	人件費	38,367,000	39,903,383	38,723,000	42,230,066
	光熱水費	6,610,000	7,105,580	6,671,000	6,141,579
	維持管理費(委託料・賃借料)	32,127,000	32,588,000	32,426,066	32,097,596
	修繕費	812,000	351,000	820,000	1,148,470
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(交通,通信運搬,消耗品費等)	7,334,000	5,707,076	6,360,000	6,122,492
	計	85,250,000	85,655,039	85,000,066	87,740,203
収支			-68,174		-1,815,628

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
年間開館日数	日	355	354	356	355
自主事業等講座	講座	20	16	18	20

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率	%	39.0	49.2	51.8	48.0
利用人数	人	22,000	31,153	31,487	26,762

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
報告書の数値の誤りや差し替えが減少し、適切に提出された。利用者のニーズについては、アンケートや利用者懇談会を通じて寄せられた意見に対し、細やかな対応を行い利用者満足度の向上を図った。	

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	事故発生時の対応マニュアルについて、内容の見直しを行い、改善を図った。事業計画書等の作成など、概ね適正な管理がなされている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	自主事業の内容や方法などを毎年見直し、区民の生涯教育・文化教養の向上等の施設目的に沿った事業を展開している。また、施設の開館や利用についても、条例に基づき適切な運営を行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	大型台風への漏水対策としてセンター内の各所に防水処置をするなど、設備担当が施設の現状を把握し、計画的な保守管理を実施している。また、新型コロナウイルス感染症対策を含めた清掃・衛生管理についても適切に対応した。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	アンケートや利用者懇談会での課題と対応について、利用者にフィードバックするなど、サービス向上に努めている。特に上野学園大学が演奏するロビーコンサートは毎回多くの参加を得ている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	光熱水費は削減出来ているが、主に人件費増により収支がマイナスとなっているため、収益を改善する対策が必要である。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (91 / 110点)	<p>【所見】 各観点の評価は良好であり、適切な管理運営・社会教育施設の目的に沿った事業を展開している。新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、利用者数の増加に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 事故発生時の対応マニュアルについて、内容の見直しを行い、改善を図った。人件費が増加しており、収益を改善するための対策が必要である。</p>